



■ 会議資料 / 横須賀市②

【取組2】市内の小学校へ訪問・講演会・デモンストレーション

| 実施校 | 講演会 | デモンストレーション | |
|-------------|-------------|---------------|---------------|
| ① 11月18日(金) | 横須賀市立高坂小学校 | 105名参加(5・6年生) | 335名参加(全校生徒) |
| ② 11月21日(月) | 横須賀市立鶴久保小学校 | 200名参加(5・6年生) | 200名参加(5・6年生) |
| ③ 12月20日(火) | 横須賀市立野比東小学校 | 79名参加(6年生) | 153名参加(5・6年生) |
| ④ 12月21日(水) | 横須賀市立池上小学校 | 173名参加(5・6年生) | 567名参加(全校生徒) |
| | | 合計 557名 | 合計 1,255名 |

・「夢」をテーマに、キャリア教育を意識した講演会の実施(約45分)JFBF 出口理事長及び強化指定選手の登壇・セクションを利用したBMXフリースタイル・パークのデモンストレーション(45分) 強化指定選手による実演



★ 変化を力に連むまち。横須賀市
学校訪問を重ねるごとに、BMXを知っている児童の割合が増えた。

【取組2】市内の小学校へ訪問・講演会・デモンストレーション



★ 変化を力に連むまち。横須賀市
学校の広報誌でも取り上げてもらい、認知度の向上に繋がった。児童からの手紙・お礼状は、選手のモチベーションUPにつながった。

【取組3】市内イベント会場での日帰り体験会

| 日程 | 天気 | 時間 | イベント名・実施場所 | 人数 |
|-----------|-----|-------------|---------------------------|---------|
| 10月10日(月) | 曇/雨 | 10:00~16:00 | よこすかスポーツフェスタ2022 (うみかぜ公園) | 35名 |
| 10月23日(日) | 晴 | 11:00~16:00 | ワイフエスタおっぱま2022 (夏島グラウンド) | 235名 |
| 10月29日(土) | 晴 | 11:00~16:00 | コースカ横須賀 (高業施設) | 67名 |
| 11月19日(土) | 晴 | 10:00~16:00 | MEGURU Project (通賃レンガドック) | 140名 |
| 12月10日(土) | 晴 | 10:00~16:00 | MEGURU Project (通賃レンガドック) | 70名 |
| | | | | 合計 547名 |



★ 変化を力に連むまち。横須賀市
BMXに乗るのが初めてという人が90% イベントとセットでBMX体験会を実施すると、効果があると感じた。

【取組3】市内イベント会場での日帰り体験会



★ 変化を力に連むまち。横須賀市
BMXに乗るのが初めてという人が90% イベントとセットでBMX体験会を実施すると、効果があると感じた。

【取組4】宿泊付き体験コンテンツ造成及びモニターツアー

| 日数 | 行程 | 宿泊 | 乗車条件 |
|----|--|----------------------|----------------------|
| 1 | <p>関東近郊から、10組26名が参加 来年の大会時に、ツアー造成をするための取り組みにチャレンジ</p> <p>10:45 浦賀レンガパーク集合 11:00~11:20 BMX フリースタイル・パークツアー (見学) 11:30~12:00 BMX 体験会 (パンフレットを利用予定) 12:00~12:45 自由時間 (会場にあるショップ・等で各自自費でお楽しみください) 12:45~13:15 浦賀レンガパーク見学 13:30~14:00 浦賀前海岸公園吹浪コース 交流会まで自由行動 各自ホテル移動・チェックインの選手様をお断りします。 17:30~18:30 選手との交流会 (メルキールホテルにて)</p> | 横須賀市内 メルキールホテル横須賀 | 頭: × 足: × 夕: × |
| 2 | <p>チェックアウト後解散 ※横須賀美術館で開催されている「スカジャン展」(11月19日は開催予定)のチケットをお断りします。 ※上記のスケジュールは、旅行実施時の状況などにより多少変更する場合がありますのでご了承ください。</p> | | 頭: × 足: × 夕: × |

★ 変化を力に連むまち。横須賀市

【取組4】宿泊付き体験コンテンツ造成及びモニターツアー



★ 変化を力に連むまち。横須賀市
自走できる高い料金を設定すると集客が厳しいアンケート結果であった。アーバンと観光を組み合わせるには、工夫が必要。

【取組5】地元企業・商店街・市民向け講演会・交流会

| 実施内容 | |
|-----------------------------------|------|
| ・11月19日(土) 選手との交流会・寄せ書き応援メッセージの募集 | 104人 |
| ・12月10日(土) 選手との交流会・寄せ書き応援メッセージの募集 | 39人 |
| ・2月7日(火) 地元商店街・企業向け講演会 | 26人 |



★ 変化を力に連むまち。横須賀市
寄せ書きは、選手との距離感が縮まり、BMXのファンが増えた。地域の人から「具体的な連携イベントのアイデア」を頂いた。

【取組6】BMXと横須賀のプロモーション動画の制作

| 出演者 | | | |
|-------|--|-------|---|
| 福島 潤平 | 横須賀市出身 ストリートの本質である、自由を追い求めるスタイル、BMXライダー兼、アート制作やモデルとしても活躍。 | 大和 晴彦 | 横須賀市出身 BMX全日本選手権3位の實力を持ち、日本代表として国際大会への出場経験を持つホープの存在。 |
| | | 山本 悠 | フラットランドの實力者。 プロとして世界各地で開かれる大会にも出場し、ワールドクラスのライダーと技を磨きあっている。 |



★ 変化を力に連むまち。横須賀市
映像の構成
① うみかぜ公園でのライディングとランドスケープ
② 横須賀のBMXライダーたちの重要スポット
③ JapanCupのドキュメント
上記3要素をつなぎ、横須賀のBMXの象徴的なかつよさを描く。
動画をご覧ください。



■ 会議資料 / 横須賀市③

【取組7】AIビーコンの設置・データ分析

特性

- 電波受信範囲内に入ったスマートフォンを検知して、行動履歴や滞在時間等の情報を収集し、そのユーザーの行動特性から、年齢、性別、居住地等の属性情報を推計する。

データ収集の条件（うみかぜ公園の場合）

- 設置場所から半径140mの範囲内に滞在
- 上記範囲内に15分以上の滞在

留意事項

- AIビーコンの機器の特性上、すべての来訪者を計測できるものではないため、あくまで、来訪者の“行動特性”を把握し、傾向を分析するために活用する。



【取組7】AIビーコンの設置・データ分析



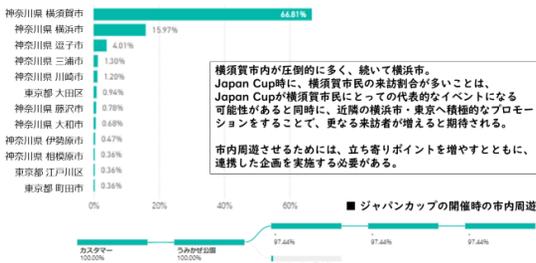
7月～12月 データ

年代別および性別による比率



【取組7】AIビーコンの設置・データ分析

7月～12月 うみかぜ公園来訪者の居住地分布



横須賀市内が圧倒的に多く、続いて横浜市。Japan Cup時に、横須賀市民の来訪割合が多いことは、Japan Cupが横須賀市民にとっての代表的なイベントになる可能性があると同時に、近隣の横浜市・東京へ積極的なプロモーションをすることで、更なる来訪者が増えたと期待される。

市内周遊させるためには、立ち寄りポイントを増やすとともに、連携した企画を実施する必要がある。

次年度以降の取り組み

2025年～(拡大期)

- アーバンスポーツ市民大会
- 他都市との連携
- スポーツツーリズムの実現 → 交流人口の増加
- アーバンスポーツを核としたまちづくり → 産業へ発展 → 定住人口の増加 (ワーケーション・移住)
- 魅力あるまちづくり

2023年～2024年(成長期)

- JapanCupの継続開催
- BMX普及活動
- 学校訪問
- 体験会
- 地域商店街とのコラボ企画
- 街なかでのデモンストレーション
- JapanCup観戦ツアー
- スクール展開

2022年(創世期)
【アーバンスポーツ元年】

- JFBBとの連携協定締結
- JapanCupの初開催
- BMXセクション開設
- スポーツ庁委託事業
- 学校訪問
- 体験会
- 講演会・交流会
- モニターツアー

「BMXの街横須賀」で実施するアーバンスポーツを活用したスポーツツーリズムコンテンツ創出事業

このような取り組みを行う機会を提供していただき、ありがとうございました。私たちは、スポーツを核としたまちづくりを進めています。アーバンスポーツが横須賀の日常風景になることを目指し、スポーツを横須賀の新たな文化として定着させ、スポーツ観光を産業へ発展させるために、本気で取り組んでいます。今後も横須賀のアーバンスポーツ、そして、横須賀市の取り組みに是非、ご注目下さい。





■ 会議資料 / 株式会社北海道二十一世紀総合研究所②

JAPAN SPORT TOURISM 【スノーリゾート(ムコテツ)企画事業】テーマスノーリゾート
 事業名: 新たなスノーリゾート「SKI TO CAMP」の創出 (株)北海道二十一世紀総合研究所 記入日: 年 月 日

14) 取組内容 (実働記録) ファムトリップ

1/27 (金)
 11:20 羽田発
 14:00 めむろ新嵐山着
 14:05 村エテション
 14:15 雪原散歩 (ガイド)
 15:00 焚火
 アクティビティ

(センターハウスに移動)

19:00 夕食
 20:30 地域との交流
 お風呂

(各テントへ移動)

22:30 就寝




※雪原のコーストピー
 山むろのコースで
 雪原散歩(ガイド)は
 雪原のガイドを兼ねて
 雪原のガイドを兼ねて

JAPAN SPORT TOURISM 【スノーリゾート(ムコテツ)企画事業】テーマスノーリゾート
 事業名: 新たなスノーリゾート「SKI TO CAMP」の創出 (株)北海道二十一世紀総合研究所 記入日: 年 月 日

14) 取組内容 (実働記録) ファムトリップ

1/27 (金)
 11:20 羽田発
 14:00 めむろ新嵐山着
 14:05 村エテション
 14:15 雪原散歩 (ガイド)
 15:00 焚火
 アクティビティ

(センターハウスに移動)

19:00 夕食
 20:30 地域との交流
 お風呂

(各テントへ移動)

22:30 就寝



JAPAN SPORT TOURISM 【スノーリゾート(ムコテツ)企画事業】テーマスノーリゾート
 事業名: 新たなスノーリゾート「SKI TO CAMP」の創出 (株)北海道二十一世紀総合研究所 記入日: 年 月 日

14) 取組内容 (実働記録) ファムトリップ

1/28 (土)
 6:00 体験コテツ
 8:00 朝食
 10:00 出発
 11:00 アヴァント体験
 13:00 昼食
 16:00 ホテル着
 17:30 夕食
 19:00 フリー

1/29 (日)
 8:00 朝食
 9:00 ホテル発
 9:30 おとふけ道の駅
 11:00 帯広畜産大学
 12:30 帯広空港着




JAPAN SPORT TOURISM 【スノーリゾート(ムコテツ)企画事業】テーマスノーリゾート
 事業名: 新たなスノーリゾート「SKI TO CAMP」の創出 (株)北海道二十一世紀総合研究所 記入日: 年 月 日

14) 取組内容 (実働記録) ファムトリップ

1/28 (土)
 6:00 体験コテツ
 8:00 朝食
 10:00 出発
 11:00 アヴァント体験
 13:00 昼食
 16:00 ホテル着
 17:30 夕食
 19:00 フリー

1/29 (日)
 8:00 朝食
 9:00 ホテル発
 9:30 おとふけ道の駅
 11:00 帯広畜産大学
 12:30 帯広空港着





JAPAN SPORT TOURISM 【スノーリゾート(ムコテツ)企画事業】テーマスノーリゾート
 事業名: 新たなスノーリゾート「SKI TO CAMP」の創出 (株)北海道二十一世紀総合研究所 記入日: 年 月 日

14) 取組内容 (実働記録) ファムトリップ

1/28 (土)
 6:00 体験コテツ
 8:00 朝食
 10:00 出発
 11:00 アヴァント体験
 13:00 昼食
 16:00 ホテル着
 17:30 夕食
 19:00 フリー

1/29 (日)
 8:00 朝食
 9:00 ホテル発
 9:30 おとふけ道の駅
 11:00 帯広畜産大学
 12:30 帯広空港着




JAPAN SPORT TOURISM 【スノーリゾート(ムコテツ)企画事業】テーマスノーリゾート
 事業名: 新たなスノーリゾート「SKI TO CAMP」の創出 (株)北海道二十一世紀総合研究所 記入日: 年 月 日

14) 取組内容 (実働記録) ファムトリップ

1/28 (土)
 6:00 体験コテツ
 8:00 朝食
 10:00 出発
 11:00 アヴァント体験
 13:00 昼食
 16:00 ホテル着
 17:30 夕食
 19:00 フリー

1/29 (日)
 8:00 朝食
 9:00 ホテル発
 9:30 おとふけ道の駅
 11:00 帯広畜産大学
 12:30 帯広空港着




JAPAN SPORT TOURISM 【スノーリゾート(ムコテツ)企画事業】テーマスノーリゾート
 事業名: 新たなスノーリゾート「SKI TO CAMP」の創出 (株)北海道二十一世紀総合研究所 記入日: 年 月 日

14) 取組内容 (実働記録) ファムトリップ

1/28 (土)
 6:00 体験コテツ
 8:00 朝食
 10:00 出発
 11:00 アヴァント体験
 13:00 昼食
 16:00 ホテル着
 17:30 夕食
 19:00 フリー

1/29 (日)
 8:00 朝食
 9:00 ホテル発
 9:30 おとふけ道の駅
 11:00 帯広畜産大学
 12:30 帯広空港着



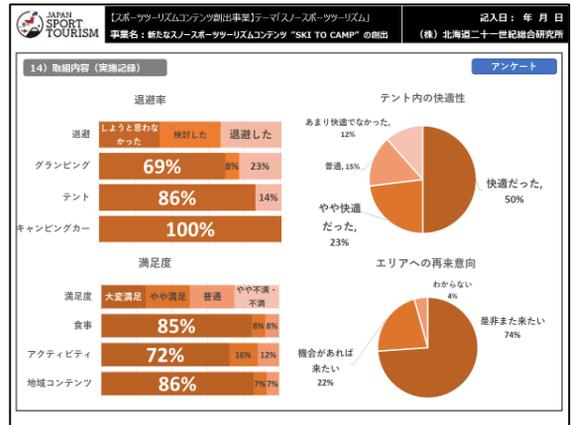
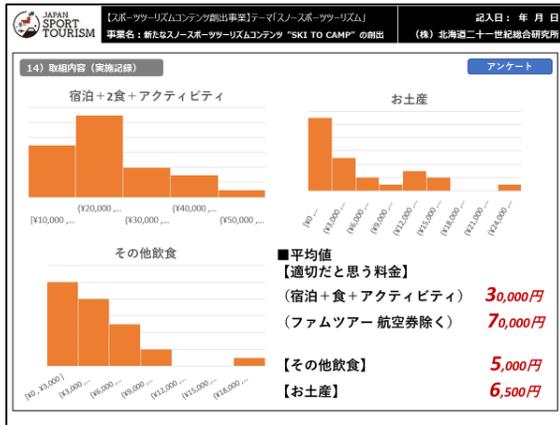

JAPAN SPORT TOURISM 【スノーリゾート(ムコテツ)企画事業】テーマスノーリゾート
 事業名: 新たなスノーリゾート「SKI TO CAMP」の創出 (株)北海道二十一世紀総合研究所 記入日: 年 月 日

14) 取組内容 (実働記録) ファムトリップ





■ 会議資料 / 株式会社北海道二十一世紀総合研究所③





■ 会議資料 / 一般社団法人能登半島広域観光協会①

**スポーツ庁「スポーツツーリズムコンテンツ創出事業」
能登半島サイクルツーリズム推進事業**

発表会資料

一般社団法人 能登半島広域観光協会

事業概要・実施体制

【能登半島サイクルツーリングの魅力】

「5月の魅力」1 Routeの観光コース
「海神様のパワースポット」豊富な自然景観
「豊かな自然」豊富な自然景観
「持続可能なライフスタイル」(1日半日遊覧)
「能登半島広域観光の基盤(自然・歴史・文化・観光資源)」

視福(変化に富んだ海岸線のビューポイント) × 食福 × 発見 × 達成感

地理課題

- ・ 2次交通の問題もあり、能登半島内の一部著名観光地(階段)に 実訪者が届いてしまっている、長期滞在の地になり得ていない。
- ・ 能登半島が「サイクルツーリズム」の適地であることが、まだ十分に認識されていない。

『サイクルツーリズム』がこころした課題状況を改善する！

「絶景」「走る楽しみ」とともに「持続可能なライフスタイルの価値」を身近に感じられる「能登半島サイクルツーリズム」

ターゲット

- ◎ 関東・中部・関西圏のサイクリスト
- ◎ 自転車旅を能登半島に組み入れる可能性がある和倉温泉リピーター
- ◎ サイクルツーリングを旅スタイルとするインバウンド観光客

【事業の実施内容】

- 能登半島サイクルツーリズムの受入環境の現状調査
・ ルートについての検証、観光資源の調査を通して、現在の受入環境や地元の意向など調査
- モデルコース検討調査
・ 現状調査を基に、専門家等の意見聴取の上、モデルコースを検討・決定
- 受入環境向上ツール制作(能登半島の旅マエ情報提供サイト制作)
・ 能登半島の自転車旅に出かける前のプランニングを支援、情報提供するサイトを制作
・ 設定したモデルコースは、観光サイクリングMAPアプリ「ツール・ド」に掲載し、走行情報を提供
- ファムトリップ実施
・ 専門家や地元観光推進関係者でモデルコースを実際に走り、観光体験なども行い、検証
- モニターキャンペーン実施
・ 設定したモデルコースを一般の方々が走行し参加者にWEBアンケートにお答えいただく、モニターキャンペーン
- 集客・認知度向上のための広報・プロモーション
・ ③の旅マエ情報提供するためのWEBサイト制作
・ ③のモデルコースを紹介する観光サイクリングMAPアプリ「ツール・ド」
・ モニターキャンペーン広報チラシ作成、配布
・ 国内外向けの情報発信(国内:自転車愛好家向け動画サイト「FRAME」(記事・動画) 国外:英語媒体(欧州)へのマルチニュースリリース)
- 効果検証
・ モニターキャンペーン参加者アンケート集計・分析し、次年度以降に向けた取組課題の抽出
・ 観光資源提供者にヒアリング実施し、当該事業の効果や今後の課題を抽出

事業実施体制

能登半島広域観光協会 ← 連携 → 一般社団法人能登半島広域観光協会(現職) ← 連携 → 一般社団法人能登半島広域観光協会(退職)

<事業推進メンバー(役務)>

| | | | |
|-----|------------------|------------------------|--|
| 副会長 | 一般社団法人能登半島広域観光協会 | プロフェッショナル(会務推進) | |
| 会長 | 一般社団法人能登半島広域観光協会 | 事業推進、調査、ファムトリップ実施、広報支援 | |

<連携支援>

| 行政団体 | 行政 | 事業主との役割 |
|------------|------------|-----------|
| 能登半島広域観光協会 | 能登半島広域観光協会 | 事業推進、広報支援 |
| 能登半島広域観光協会 | 能登半島広域観光協会 | 事業推進、広報支援 |

株式会社エイベー

【実施スケジュール(実績)】

| | |
|-----------|--|
| 6月 | ◎ 6月30日 事業計画承認、事業契約を締結 |
| 7月 | ◎ 7月1日 専門委員との意見交換会(小会議) ◎ 7月12・13・19日 能登半島内9市町、観光団体への事業説明(第1回事業検討会議に出席) |
| 8月 | ◎ 8月8〜10日 受入環境向上ツール制作の準備 集客・認知度向上のための広報・プロモーション制作の準備 ◎ 8月全体 受入環境向上ツール制作の制作 集客・認知度向上のための広報・プロモーション制作 |

事業概要

| | |
|------------|--|
| 9月 | ◎ 9月5〜7日 受入環境状況調査②(観光施設ヒアリング(一部)、現地実査) ◎ 9月16日 事業事務局とのミーティング ◎ 9月全体 モデルコース検討、設定 受入環境向上ツールの制作 集客・認知度向上のための広報・プロモーション制作 |
| 10月 | ◎ 10月5日 ファムトリップ実施 ◎ 10月6日 第2回事業検討会議(専門家・モデルコース4市町、観光団体等参加) ◎ 10月31日〜(12月30日まで) モニターキャンペーン開催 (モニターキャンペーンサイト公開、広報チラシ配布、観光サイクリングMAPアプリ「ツール・ド」公開、自転車愛好家向け動画サイト「FRAME」(記事・動画)公開) ◎ 10月全体 受入環境状況調査の結果整理、受入環境向上ツールの制作 集客・認知度向上のための広報・プロモーション制作 |

事業概要

| | |
|------------|---|
| 11月 | ◎ 11月17・18日 初年度振り返り報告(両行) ◎ 11月22日 事業事務局とのミーティング ◎ 11月25日 専門委員との意見交換会(小会議) ◎ (引き続き)モニターキャンペーン開催 |
| 12月 | ◎ 11月全体 受入環境状況調査の結果整理、受入環境向上ツールの制作 集客・認知度向上のための広報・プロモーション制作 ◎ 12月13日 事業事務局とのミーティング (引き続き)モニターキャンペーン開催 ◎ 12月全体 受入環境状況調査の結果整理、受入環境向上ツールの制作 集客・認知度向上のための広報・プロモーション制作 |

事業概要

| | |
|-----------|---|
| 1月 | ◎ 1月27日 専門委員との意見交換会(小会議) ◎ 1月全体 受入環境状況調査の結果整理、受入環境向上ツールの制作 モニターキャンペーン参加者アンケートの集計・分析 集客・認知度向上のための広報・プロモーション制作 |
| 2月 | ◎ 2月8日〜 マルチメディアリリースによる海外(欧州)記事配信 ◎ 2月13・14日 観光施設ヒアリング(奥能登・中能登・口能登から各1か所) 第3回事業検討会議(一部主要メンバーに説明) ◎ 2月15日、24日 事業事務局とのミーティング ◎ 2月全体 効果検証、事業全体のまとめ、事務作業 |
| 3月 | ◎ 3月1日 成果発表会(オンライン参加) ◎ 3月3日 事業報告 |



■ 会議資料 / 一般社団法人能登半島広域観光協会②

取組内容(実施記録)

25270m

【専門家招聘でのファムトリップ (モデルコース試走会) 10月5日実施】

ファムトリップ

◎体験したコース概要

輪島市エリア モデルコース

距離: 25.2km 走行時間: 2時間18分 (時速11km換算) 最大標高差: 78m

スタート: 道の駅輪島びらっつと訪夢 ゴール: 道の駅輪島びらっつと訪夢

道の駅輪島びらっつと訪夢→0.8km→輪島工務局→2.0km→★橋ノ浦製粉所→0.3km→陸アジ→1.2km→★輪島ドーナツ記念館→0.3km→輪島駅前 (8:00~12:00) →永井家記念館→0.8km→★輪島マリコ会館→0.8km→★日本平公園 (道の駅平谷公園ゲートパーク) →10.2km→道の駅輪島びらっつと訪夢

【専門家、地元関係団体を交えての意見交換会 (10月6日実施)】

事業検討会議

◎穴水町エリア モデルコース

距離: 18.5km 走行時間: 1時間41分 (時速11km換算) 最大標高差: 46m

スタート: 穴水駅 ゴール: 穴水駅

穴水駅→3.5km→中屋美ふれあいパーク (ボタモチのあまき屋) →0.6km→能登中級博物館→1.0km→中富町の物産ふれあい館→穴水町歴史民俗資料館→3.2km→能登長井大仏→2.0km→穴水駅

◎七尾市エリア モデルコース

距離: 33.5km 走行時間: 3時間1分 (時速11km換算) 最大標高差: 59m

スタート: 七尾駅 ゴール: 七尾駅前

七尾駅→1.0km→花巻の八幡→0.1km→一本杉通 (豆まもも(豆粉)) →0.8km→道の駅能登會館→2.1km→能登島大橋→10.3km→道の駅のとじま、石川津能登島ガラス美術館、能登島ガラス工芸→2.0km→能登島農産物ふりパーク (足栗) →0.9km→港元の広場→0.9km→七尾駅前→1.6km→七尾駅前

◎羽咋市エリア モデルコース

距離: 24km 走行時間: 2時間11分 (時速11km換算) 最大標高差: 47m

スタート: 羽咋駅 (東口) ゴール: 羽咋駅 (東口)

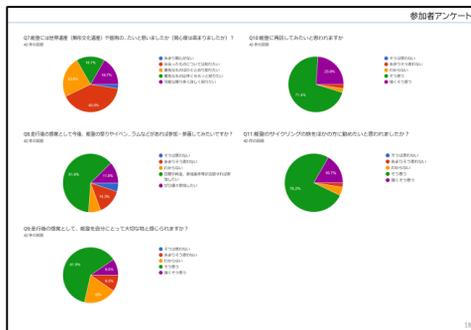
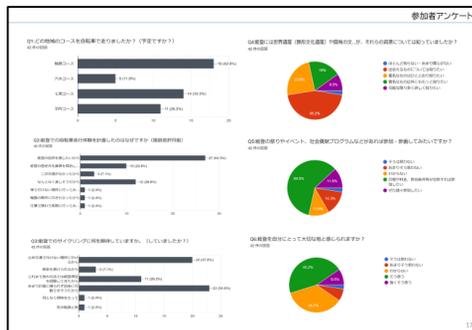
羽咋駅 (東口) →2.0km→道の駅のとじま温泉→0.4km→平栗浜 (なまきドライブウェイ) →0.7km→能登千景レストハウス (能登自然温泉 湯ヶ野温泉(自來水湯)) & 4km→長井寺→2.7km→谷倉寺→4.3km→宮多社 (自噴湧出有温泉) →4.30km→宇留社学務物産コスモスモール→0.9km→羽咋駅 (東口)

【10月31日~12月30日開催】※事業途中で1ヶ月間延長

能登半島サイクルウィズリスモニタリング

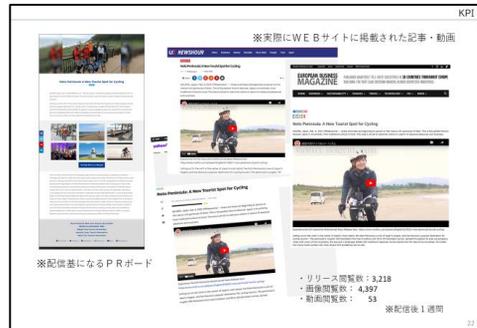
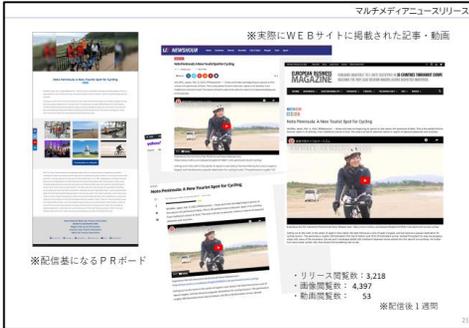
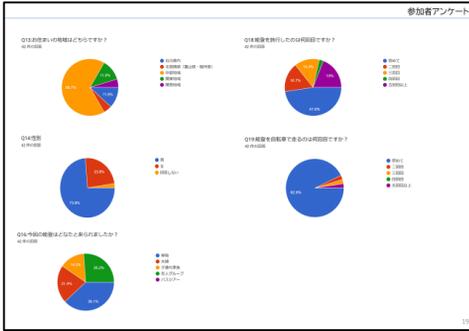
10.31~11.30

◎同時に国内広域を開始 (FRAME、ツール・ド)





■ 会議資料 / 一般社団法人能登半島広域観光協会②



効果検証・次年度以降に向けて

効果検証・次年度以降に向けて

KPI

- ◎地域への関心度を自転車WEBサイト「FRAME」での能登自転車旅紹介動画の再生回数 → 2.1万回 (FRAME内自転車旅紹介動画の再生平均2万回)
- ◎Eニターキャンペーン参加者アンケートで能登自転車旅の魅力を調査。自身の継続訪問の意向の2項目の目標を引別評価の3を絶対的数値とし、平均数値の目標を「4」。
- 平均数値：4.1
- ◎最大の宿泊拠点である和倉温泉の長期滞在客割合を2019年9～12月比較で2022年同時期110% → 長期滞在客（3泊4日以上）割合：0.27%（2019年）→ 0.84%（2022年）に上り、29%増

能登半島振興

- ・能登半島の自然、文化、食などへの関心度は高い。訪れた人々の満足度は高い。
- ・能登半島の魅力はまだ知られておらず、情報発信が不十分であり、受入れ環境はまだ整備されていない。
- ・能登半島の観光は「楽しい以上」に「体験」が鍵を打てる。この地で味わうものに価値がある。
- ・サイクリスに合わせた、能登半島を巡る乗客、多人間車などの旅行客が、気軽に、自由に自転車を移動手段、体験手段として先での楽しみ方を追求した方がより良いのではないかと。

次年度以降の自主的に取った施策及び事業体制

【次年度以降の増加策】

- ・能登半島の自転車旅の情報発信
- ・地域が連携した受入れ環境（サイクルステーションや駐輪スペース、レンタサイクル）の整備促進
- ・地域におけるガイドの育成

【事業実施体制】

- ・能登半島広域観光協会を中心とし、地域の9市町（珠洲、輪島、能登、穴水、志賀、七尾、中能登、羽野、宝達志水）の行政団体・観光協会・観光事業者
- ・石川県、石川県サイクル協会



■ アンケート設問

Q 1. 団体名を教えてください。

回答内容：フリーテキスト

Q 2. 部署名を教えてください

回答内容：フリーテキスト

Q 3. 年齢を教えてください

回答内容：10代、20代、30代、40代、50代、60代、70代以上、回答しない

Q 4. 所属を教えてください

回答内容：民間団体、地方自治体、非営利団体、学生、DMO、スポーツコミッション、その他

Q 5. 参加のきっかけを教えてください

回答内容：スポーツ庁HP、関係者、知人、社内、SNS、その他

Q 6. シンポジウム全体の感想を教えてください

回答内容：満足、やや満足、どちらでもない、やや不満、不満

Q 7. モデル事業プレゼンテーションは参考になりましたか？

回答内容：大変参考になった、参考になった、どちらともいえない、参考にならなかった、まったく参考にならなかった

Q 8. モデル事業プレゼンテーションについて、印象に残った発表内容があれば団体名とその理由をご記入ください。

回答内容：フリー回答

Q 9. トークセッションは参考になりましたか？

回答内容：大変参考になった、参考になった、どちらともいえない、参考にならなかった、まったく参考にならなかった

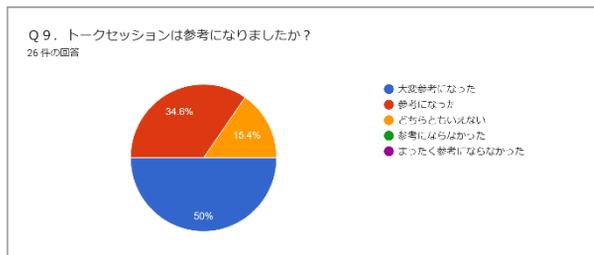
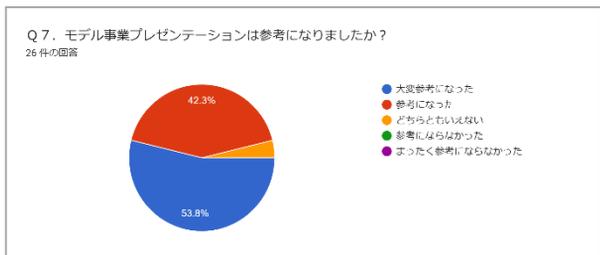
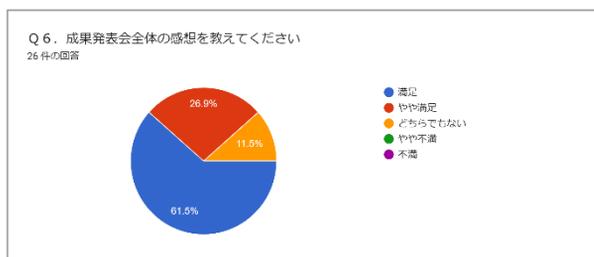
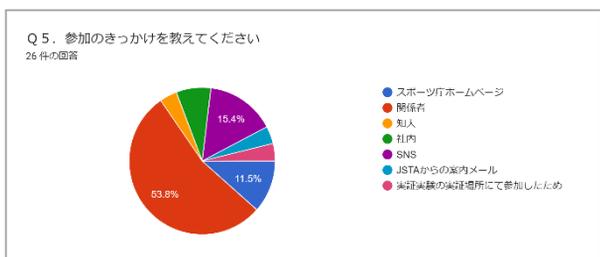
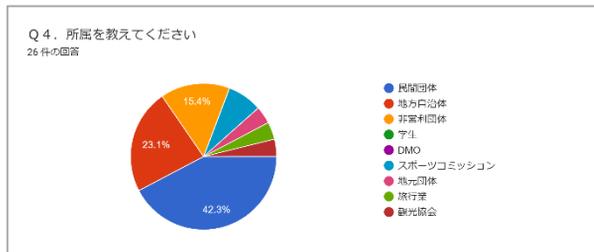
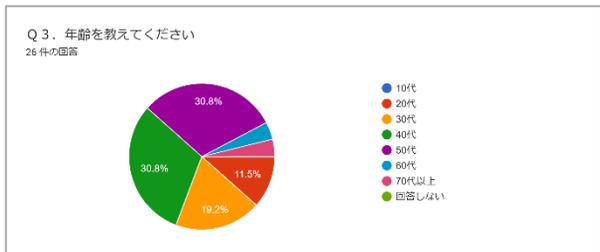
Q 10. 全体の感想ございましたらご記入ください。

回答内容：フリー回答



■ アンケート回答結果

回答者数：26名





■ 参加者情報

- 参加申し込み数 : 74名
- 時間別視聴者数

